

2008年7月24日

ご参考資料

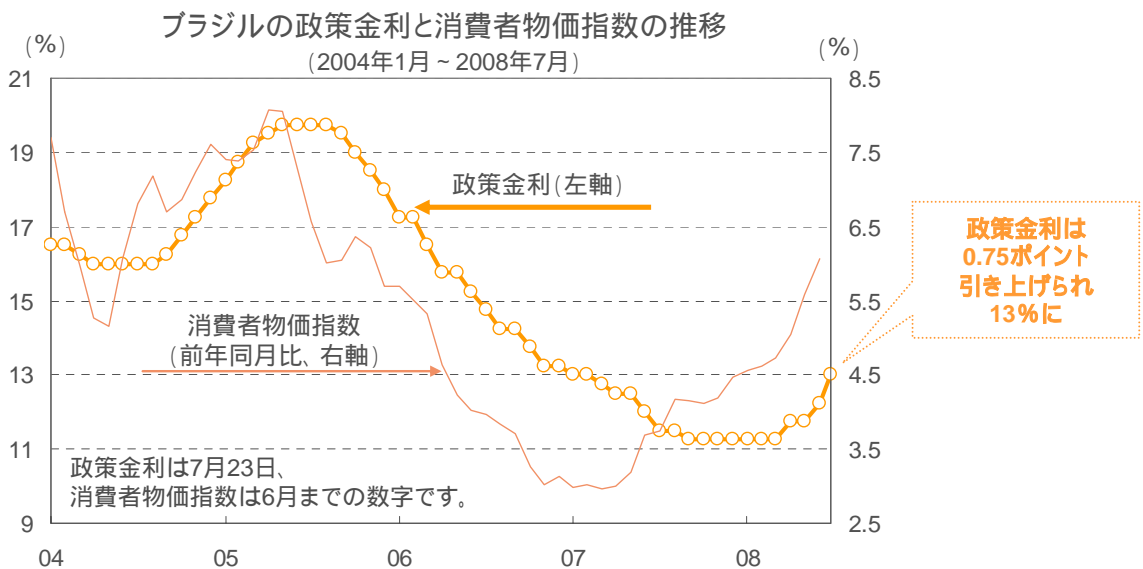
Follow
Up
Memo

フォローアップメモ

nikko am
fund academy

ブラジルの政策金利引き上げについて

ブラジル中央銀行は、7月23日の金融政策委員会（COPOM）で、政策金利（翌日物国債レポ取引金利、SELIC）を0.75ポイント引き上げ、13%とすることを決定しました。今回の利上げは、市場予想（0.5ポイント引き上げ）を上回る水準となったものの、6月と同様、COPOMの全会一致によるものでした。



(信頼できると判断したデータを基に日興アセットマネジメントが作成)

上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

ブラジル中央銀行は、インフレ・ターゲティング戦略を採っており、消費者物価指数（IPCA）上昇率の目標レベルを $4.5\% \pm 2.0\%$ としています。消費者物価指数は、1月以降6ヵ月連続で前年同月比 $+4.5\%$ を上回る水準が続いています。好調な内需を背景とした需要面からのインフレ圧力に加え、食料品価格の上昇による供給面からのインフレ圧力も高まる中、更なる追加利上げの実施が見込まれますが、インフレ抑制に向けた追加利上げは、ブラジル経済の安定・高成長に資するものであると期待されます。

以上

nikko am
fund academy日興AM
ファンドアカデミー
とは？

投資信託を「つくる」会社、日興アセットマネジメントが
2008年にスタートした、投資教育のプラットフォーム。
「すべての投資信託に共通する大切なこと」をテーマに、
より深い理解と納得のもと購入していただくための活動を展開しています。

日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。